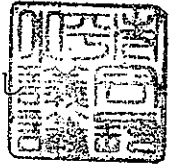




平議発第26号
令和6年6月13日

小平市長 小林 洋子 殿

小平市議会議長 松岡 あつし



文書質問書の送付について

このことについて、小平市議会基本条例第11条第1項の規定に基づき、別紙のとおり文書質問書が提出されましたので送付いたします。

なお、回答につきましては、令和6年6月27日までをお願いいたします。

令和6年6月13日

小平市議会議員 松岡 あつし 殿

会派名 政和会
会派代表者名 鈴木洋一
質問者名 鈴木洋一

文書質問書

小平市議会基本条例第11条第1項の規定により、次のとおり文書による質問をいたします。

1 質問項目

1、平成17年11月29日議決、請願第36号大沼地域にコミュニティバスなどの運行、小平駅北口にタクシー乗り場を実現することについての処理経過として「タクシー乗り場については、小平駅北口地区市街地再開発準備組合において、駅前広場整備の中で整備の検討をしている。」とあるが、現在の検討状況をどのように捉えているのか。

2、平成22年12月21日議決、請願第24号公民館など公共施設使用料の減免内容見直しについては、いつまで凍結することを考えているのか。

3、平成23年12月20日議決、請願第5号福祉的な交通体系の構築を目的とする検討の場の設置についての処理経過として「国・東京都・他市の動向に注視するとともに、福祉交通施策について関係課と情報共有を行った。」とあるが、国・東京都・他市の動向はそれぞれどのようなものでありどのような情報を得たのか。

また、福祉交通対策について関係課と情報共有を行ったとのことだが、これまでにどの関係課と何回、どのような情報共有を行ってきたのか。

4、平成28年11月29日議決、請願第6号小平市における男女共同参画の施策を具体的に進めることについての処理経過に記載のある「情報交換の場」はどのくらいの頻度で何回これまで行われており、どのような「情報提供」を行っているのか。

5、平成29年2月28日議決、請願第8号小平市立中央公園内の井戸の修理とその利用についての処理経過に工事費が多額と記載があるが、直近の見積り金額はいくらなのか。内訳を示してください。また、平時の井戸の活用方法や、維持管理方法について、現在把握している課題及びその課題の解決に向けた検討状況は。

6、令和元年11月26日議決、請願第2号精神障害者への小平市心身障害者福祉手当の支給を求めることについての処理経過に記載のある「26市の状況と東京都心身障害者福祉手当に関する条例の改正の動向の把握及び研究」の結果はどのようなものか。また、市長会要望の文面を示してください。その上で東京都の回答はどのようなものか。市として独自で行うことは検討できないのか。

7、令和3年3月26日議決、請願第5号旧佐川邸の土地を売らないことも含め、市民の意見を聞きながら公園整備を行うことについて、について防災、自治会利活用など今後の公園の活用はどのようなようになるのか、市の見解は。

8、令和4年9月6日議決、請願第18号回田町の開発に伴い、安全な生活道路等の確保を小平市が主体的に実現することを求めることについての処理経過に「行政指導を行っていく」とあるが、市民の安全性を確保できるよう引き続き庁内で議論を続けてほしいという声を聞いている。小平市としてはどのような場や構成メンバーで市民の安全性を確保するための議論をしていくことを考えているのか。

9、令和5年11月28日議決、請願第3号都市農地を守るために、国への意見書の提出とできる取組の検討を求めることについての処理経過に記載のある「情報収集等」の結果はどのようなものなのか。

2 質問の理由及び趣旨

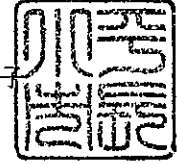
地方自治法第125条の規定に基づく令和6年5月28日付平総総発第8号の採択請願の処理結果について（報告）の進捗状況などを確認するため。



平都地収第16号
令和6年6月18日

小平市議会議長 松岡 あつし 殿

小平市長 小林 洋 子



回答書

小平市議会基本条例第11条第1項の規定による鈴木洋一議員の文書質問について、次のとおり回答いたします。

- 1 小平駅北口のタクシー乗り場の検討状況につきましては、小平駅北口地区市街地再開発準備組合において、バスやタクシー乗り場を含めた駅前広場の整備について、再開発区域全体を見据えた中で検討しており、現在、再開発事業の施設計画の見直しとともに、地区内の合意形成に取り組んでおります。
市といたしましては、駅前広場を含めた再開発事業の早期実現に向け、引き続き準備組合を支援してまいります。
- 2 集会施設等使用料の減免内容の見直しにつきましては、現在の社会経済情勢に鑑み、検討を凍結しており、今後に向けては、コロナ禍での外出行動の抑制などの影響により、人々の交流や活動の機会が失われ、集会施設等の利用が低迷し、その後も十分な回復をみていない現状も踏まえ、市民の皆様の交流や活動を妨げることのないよう、慎重に判断してまいります。
- 3 国・東京都・他市の動向につきましては、福祉的な交通体系についての法改正、制度改正、他自治体の先進事例等の情報把握に努めております。また、多摩地域の26市町村で構成される多摩地域福祉有償運送運営協議会におきましては、東京運輸支局から道路交通法等に関わる制度改正についての情報提供があるほか、参加自治体と移動・外出支援を実施するに当たっての課題等を共有しております。
関係課との情報共有につきましては、生活支援課、障がい者支援課、公共交通課の間で、法改正等の情報共有に加え、日々の業務において把握した市民や事業者からの福祉的な交通体系に関係する御意見等について、随時、共有を行っております。
- 4 情報交換の場につきましては、平成29年度から年1回以上行っており、これまでに9回行っております。また、情報交換の場では、男性の育児休業取得促進に関する市の取組などについて情報提供を行っております。
- 5 直近の見積額につきましては、昨年度、請願者から提出された見積金額で、合計1,056万円でございます。内訳は、基本設計160万6,000円、実施設計169万4,000円、掘削工事726万円でございます。

また、平時の活用方法や維持管理方法の検討課題につきましては、市において平時の活用の見込みはないことから、請願者において平時の活用方法や、維持管理方法を検討していただいております。

今後につきましても、井戸工事のための見積り費用が、請願時に議論された金額よりも高額になっており、請願時の状況と相違することから、請願者とは、平時の井戸の活用及び維持管理方法も含め、定期的に意見交換してまいります。

6 2-6 市の動向の研究の結果につきましては、各市の情報を収集した結果、令和6年3月末時点で心身障害者福祉手当の支給対象を精神障がい者まで拡大している自治体はございませんでした。

また、市長会要望の文面につきましては、精神障害者保健福祉手帳所持者に対する心身障害者福祉手当の支給として精神障害者を東京都心身障害者福祉手当の対象に含めるよう制度の拡充を要望するという内容でございます。東京都の回答につきましては、他の自治体と連携し、障害者の所得補償の充実について、国に働きかけていくというものでございました。

市として独自で行うことにつきましては、対象者の拡大に伴う財源の確保が大きな課題であることから、引き続き、東京都へ要望を行ってまいります。

7 旧佐川邸跡地における公園の今後の活用につきましては、小平市立合気公園として、令和6年3月23日に開園いたしました。本公園は、地域の皆様、旧佐川邸の公園化を考える会等との連携・協働により事業を推進してまいりました。引き続き、地域や関係者の皆様との連携により適正に維持管理を図り、貴重なオープンスペースとして、防災活動や地域コミュニティの場として活用していただくことで、地域に親しまれる都市公園になるものと考えております。

8 市が行う行政指導につきましては、市内において開発事業の申請があった場合、まちづくりに関わる11課で構成する小平市宅地開発等審査会を開催し、開発予定地の状況や特性等を共有するほか、小平市都市計画マスタープランの目指す良好な住環境及び安全で快適な都市環境を備えた市街地の形成を踏まえ、事業者への指導や要請、協議すべき事項について議論しております。

今後も、安全で快適なまちづくりを目指すため、引き続き小平市宅地開発等審査会での市の意見を取りまとめた上で、事業者への指導や要請、協議を適切に行ってまいります。

9 情報収集等の結果につきましては、現在のところ、市へ農地を売却する意向のある農家の情報はございません。引き続きJA東京むさしと連携を図り情報収集等に努めてまいります。